

市民憲章唱和

1 あいさつ

2 協議事項

（1）平成 29 年度開催済事業報告

委員	市内小中高校勤務教員の研修受け入れについて、安城市教育委員会社会部の 30 名程度で土器づくりを行ったことについては受け入れに入らないのか。 今回資料に掲載されているものは教員 10 年経験者研修のみが対象になっているのか。この研修は法定研修の一環であり、外部機関での研修のことであり一般の方にはわからないと思われる。
事務局	土器づくりのみであると文化財係の担当になるので今回の対象にはならない。学芸係を窓口としてさまざまなメニューの一つとして土器づくりを行っている場合はここに入るが、文化財係が文化財保護の普及啓発によって実施する事業については博物館主催事業ではない。
委員	5 月に社会部会として歴史博物館を利用して会議を行い、講話をいただいたがこれも研修にならないのか。
事務局	博物館の職員が歴史博物館で外部に対して話をしていた場合はこの部分ではなく、入館者数の「その他」の部分にカウントされる。今後、学校からの依頼分を別に記載した方が良いでしょうであれば参考として一括で記載するようにする。
委員	歴博と文化財係の線引きは分からないのだが、ナイトミュージアムの中のドキドキ晩ごはんに孫と一緒に参加してとても楽しかった。また、光の切り絵も素晴らしく夏の夜の催しとしてはとても素晴らしかった。博物館の関連事業としては資料に載っているもののみか。
事務局	ナイトミュージアムは博物館とギャラリーも使用したイベントであり、基本的には指定管理者の主催事業となる。博物館の関連事業としてはナイトツアーのみになる。その他のイベントについては指定管理が把握している。
指定管理者	光の切り絵についてはギャラリー事業になるので入館者数はギャラリーの入館者にカウントしている。

委員	夜にあれだけの人が博物館にいたということは非常に驚いた。
委員	このようなイベントは指定管理ならではないか。
委員	すべての係が一緒になってイベントを行うということがもっとあるとよいと思う。
指定管理者	来年度も引き続き開催していく予定である。
委員	市民ギャラリーは展示室の天井が高いので、発掘された日本列島展では非常にダイナミックな展示ができていた。発掘された日本列島展は入館者が少なかったかもしれないが今後も市民ギャラリーを大いに使用した展示を行うことができないか。
事務局	市民ギャラリーは自主事業を行っているだけでなく一般利用もあるので博物館の展示を毎回実施すると一般利用ができなくなってしまうので簡単にはできない。今回発掘された日本列島展では第一会場と第二会場との一体感出すための工夫を行った。広重展でもギャラリー展示室を使用することも検討したが展示会場の距離が離れてしまうので使用しなかった。発掘された日本列島展は展示点数が多かったのでギャラリーも使用したが、ギャラリーは C 室を除いてケースが少ないのですべての展示で使用することは難しい。ただ、今後またギャラリーを使用した展示も検討していければと思う。
委員	外国人対応の展示が全くない。友人を連れてきたが説明がすべて日本語で書かれていたので分からなかった。英語であれば半分程度の欧米人は分かると思うのだが。
事務局	列島展では文化庁が意識してタイトルのみ英語表記をしてあった。どこまで対応すべきかについては問題になっている。当館ではなかなか欧米圏の来館者も多くないことから多言語対応はできていない。 丈山苑では4ヶ国語対応の音声ガイドを用意しているが利用者はほとんど日本人である。音声ガイド機の一部を展覧会の際に歴史博物館で使用しているが、こちらについては展覧会の都度職員が録音しているので多言語対応は難しい。しかし、常設展のキャプションなどは一部英語表記をしている箇所もあるが統一されていないので今後の課題である。
委員	自由研究相談会で32人の子どもの相談を受けているが、この中で学校代表として歴史のひろばに選出されたのは何人いるのか。
事務局	統計は取っていないが、一定数相談を受けた子どもが学校代表で選出

	されていることは確認している。
委員	自由研究相談会で相談をすると歴史のひろばで高く評価されると学校で子供に伝えることによってより参加者が増えると思われるので話をしていきたい。
事務局	参加者の住所・氏名・学校は控えてあるようであれば突合はできないのか。今後社会科部会などに情報を伝えていくことによって相談者数も増えていくのではないか。
委員	昨年度の若冲展、今年度の広重展など有名なものは観覧者が多くなるのはわかるが、入館者数のみとられず入館者が少なくとも幅広い内容の展示を行ってほしい。今回の一汁三菜のような派手ではないが地域に根差したような展示を今後も行ってほしい。全体的には指定管理者を導入したので今までとは違う良さを伸ばしていければよいと思う。 宣伝の方法について、なかなかチラシやポスターを見てくれる人は少ないので、SNS の利用など新しい宣伝の方法を行っていくことがよいのではないかと思うがどう考えているか。
委員	安城市のホームページには博物館の展示の情報は載せているのか。
事務局	載せている。また、歴史博物館のホームページは指定管理が行っている。
指定管理者	SNS の利用については、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターの三媒体を駆使し宣伝を行っている。また市の広報のフェイスブックに歴博のフェイスブックをリンクさせてシェアをしてもらっている。 しかし列島展については入館者数に直結しなかった。招待券についても文化財係にも協力してもらい数多く配布した。今後も指定管理としてさまざまな広報を行っていきたい。
委員	広重展の前後期セット券の売れ行きはどうであったか。
指定管理者	後ほど調べて報告する。
委員	列島展については前の巡回先が三重県であったということが入館者数に大いに関係していると思う。文化庁の担当者に意見を言う機会があったら伝えてもいいのでは。
委員	特別展「陰陽師 安倍晴明」の所感の中で来館者の滞在時間が比較的長いとあり、それには 30 分となっているがそんなに短いのか。これは統計を取ったものか。

事務局	統計は取っているわけではないが一時間程度はあったのではないかと 思われる。音声ガイドのみであっても 30 分はかかるのでそれ以上は滞 在していたと考えられる。ここで伝えたかったことは来館者の関心が 高いということが伝えたかった。列島展でも興味のある方は半日以上 滞在しているという事例もあった。
委員	30 分以上というのは意味がないのか。
事務局	鑑賞時間を図っている訳ではないので、これまでの展示と比較して鑑 賞時間が長いということを伝えたかった。
委員	地域展は分かりやすくよかったと思った。人面文壺形土器が撮影可で あるというのがよかった。パネルやキャプションも良くできていたと 感じた。
委員	刊行物の中に博物館の紀要は含まれないのか。
事務局	含まれる。今年度も予定もある。

（２）平成２９年度下半期事業

委員	一汁三菜の展示について、箱膳が展示してあるのはよかったが、ちゃ ぶ台は展示してあったか。
事務局	郷土食のコーナーでちゃぶ台を使用している。
委員	日本の文化でちゃぶ台の上に食事が並べてあるということがイメージ としてあるので、江戸からの文化でちゃぶ台は欠かせないと思う。
事務局	ちゃぶ台は比較的歴史が浅い。
委員	わかった。

（３）平成３０年度事業計画

委員	来年度の特別展で幕末維新を取り上げるようであるが、板倉農場の中 心人物である板倉源太郎が今年生誕１５０年であるので、常設展かど こかで板倉源太郎についての１コーナー作ることはいかないか。
委員	来年度上半期の催し物案内の案の中で、連続講座の開始時間が各回 1 時半～と表記されており、資料代は 500 円などと記載されている。し かし、これは穿った見方をすれば各回資料代が 500 円かかるとも見え てしまうので各回という表記は改めた方がいいのでは。
事務局	表記については再検討する。

委員	連続講座などは平日の夜に行えないのか。
事務局	閉館時間なのでできない。
委員	安祥公民館なので行えないのか。
事務局	業務として行うとなると時間外勤務等となるので難しいが、意見としてうかがっておく。
委員	音と映像が展示の中にあると分かりやすいので 10～20 分程度の映像があるといいのでできないのか
指定管理者	展示室の中で音を出すと、展示に集中できないといわれる方が多いのでエントランスでちょっとした展示の紹介を行っている。
委員	常時流しておくのではなく 1 時間に 1 回程度音を流すということもいいのでは。
委員	エントランスで紹介を行い展示に呼び込むような工夫をしているのか。
指定管理者	現在イベントの案内や展示の紹介をエントランスで行っている。

3 その他

委員	ミュージアムショップや広重展の際にエントランスでイベントを行うなどは指定管理ならでは。今後も頑張ってもらいたい。
----	--